

2016年4月21日実施「ふるさと創造学教員研修会」
参加者アンケート集計

2016年5月13日

1) 研修で得られた気づきや感じた課題等について

○ 「課題設定」の手立てを学べた

- ✓ 各校において、どのように課題を設定すればよいかのヒントが多々あったように思う。特に「視点」の大切さがよくわかった（小学校・管理職）
- ✓ 課題設定がどうしても学年ごとに固定してしまうことが悩みだった。今回の研修は大変有意義でした。子どもたちの成長につながる課題設定のスキルを学ぶことができた（小学校・管理職）
- ✓ とてもよい研修内容だった。先生方に伝えなければと思う。田村先生の講義内容はいつ聞いても楽しくとても勉強になった。ありがとうございました（小学校・管理職）
- ✓ 課題設定の仕方、視点のもち方など、大変わかりやすく説明していただいた（中学校・管理職）
- ✓ 課題設定の具体的なやり方を教えていただき、ウェビングから共通の課題を決めるための「視点」を明らかにすることが大事であることを実感した。早速明日から実践したい。この時期にピッタリの内容（小学校・教諭）
- ✓ 自らが体験する演習のおかげで、田村先生が提唱する課題設定の方法がみえてきた。すぐに伝達し、3～6年の総合に生かしたい（小学校・教諭）
- ✓ 課題のしぼり方が特に参考になった（小学校・教諭）
- ✓ 話し合いの活性化のための手立て（ウェビングマップ等）や課題設定の方法について大変勉強になった。グループとの話し合いを通して考えを深めることができた（その他）

○ 「総合的な学習の時間」の重要性を再認識した

- ✓ 総合が導入された当時の同僚と悩んだことを思い出した。ウェブシートの活用や何を指すのかなど、半分、ケンカしながら取り組んでいた。総合的な学習の時間の重要性を再認識した（小学校・管理職）
- ✓ 子どもの主体性を引き出すための手立て（比較、問いの顕在化）を工夫することで、他教科にも広げていける有効な方法を知ることができた（その他）

○ 「ふるさと創造学」の意義を再確認した

- ✓ 課題づくり、サイクルをまわす方法等、実例を示しながら本当にわかりやすい内容だった。現在目の前で見ることができない「ふるさと」をどう取り上げてよいか、私も今年度来たばかりで大きな悩みだったが、「人の思い」をキーワードに進めたい（小学校・管理職）
- ✓ 子ども達への育てたい力を、このふるさと創造学を通して培っていききたい。アクティブラーニングとカリキュラムマネジメントを核に、双葉らしさが伝わる活動にしていけるように伝達していききたい（小学校・管理職）
- ✓ 教師の指導力が子どものやる気をひき起こす。ふるさと創造学を通して私たちの指導力をのばすことが子どもを変えていくのだと確信した。自校に戻り今一度見直したい（中学校・管理職）

- ✓ 今と昔を比較しながら、将来自分たちはどうしていけばいいのか、どうなりたいのか、考えることの大切さが気づかされた。他の地域でも使っていけるとりくみではないかと思った（中学校・管理職）

○ 指導者としての自覚、モチベーションが高まった

- ✓ 生徒が自ら学びたくなる＝主体性は”教師の腕”ということも納得した。教師のさまざまな”しかけ”をどれだけ教師がつくれるか、教師自身も探求のスパイラルを日々続けていくことが必要と感じた。また、教師が体験することでより指導が本物になると思う（中学校・管理職）
- ✓ 課題設定のための手法、教師の手立て、生徒のやる気を起こすゆさぶり etc 大変参考になった（中学校・管理職）
- ✓ いわゆる生徒の思考ツールの研修会であり、学校現場で教師が総合をもてあましている状況を変え（改善し）ていくために有意義な研修であったと思った（中学校・管理職）
- ✓ 課題作りで、問題状況を把握させる方法（ランキングを用いるなど）を紹介していただき、子どもが自ら”調べたい”という思いを持つための工夫をヒントにしていきたい。まず自分が、ふるさとのよさ、人材、復興について人と出会いながら動いて知ることが必要と感じた（小学校・教諭）
- ✓ 大変役に立った。今回初めての参加でしたが、もっと早くから参加させていただきたいという気持ち（小学校・教諭）
- ✓ 講義をお聞きするだけでなく、自分の指導をふり返り、自分で考える時間をいただいたことでより実のある研修となったと思う（小学校・教諭）
- ✓ 他管内から来たが、国語、算数、数学、体育等の研修はあるが、子どもの豊かな学び、資質能力の育成に視点をあてたこのような研修は、双葉地区ならではの大変ありがたいことだと感じた（小学校・教諭）
- ✓ 課題設定の仕方や、子どもの主体的な学びを引き出す方法などとても勉強になった。年度当初にこのような研修を受けることができ、少し気が楽になり、また頑張ろうという気持ちになった（小学校・教諭）
- ✓ やはり今回も教師側の”力”が重要ということで、勉強しないといけないと思った今年度の具体的な計画作成に役立つ内容だった（中学校・教諭）
- ✓ ふるさと創造学で「何を」「どのように」探求させるのか、また、課題設定のしかたについてもワークショップ等で体験することで実感することができた。特に田村先生の言葉の中で「生徒の主体性は教師の指導力」というものが印象に残った（中学校・教諭）
- ✓ 2年目となり、現場での実践を通じての反省点や課題が目の前にある中、田村先生のお話からヒントが得られた。現場での悩みがあって、問題意識を持つことが重要と気づく。生徒へも教材としてのしかけをしていきたい（中学校・教諭）
- ✓ 話し合い活動の際の教師の自覚の大切さを知ることができた。震災 5 年経過した今、題材との（”人との関わりを大切にしていく” お話を伺って納得させられた）出会わせ方が課題であることを同じグループの先生方と確認した。課題設定については、具体的で大変分かりやすく、学校で広げていきたい（その他）
- ✓ 探求的な学びにおいては、課題設定のプロセスが必要であり、一方、授業においては生徒の主体

的な設定に課題があるとの声をよく聞いたが、課題設定を主体的に行わせるための、教師側の視点や指導力が大きくかかわることを知った（その他）

- ✓ 「子どもの主体性は教師の指導力（力量）によって生まれる」という主張が最も印象的だった。（私はこれまで「ふるさと創造学」に携わることはなかったが）従来、先生方が取りませようと理づめで考えたテーマより、生徒の自由な発想の中から、（共通する、大切な、主要な、共有できる）視点から選ばせることにより生徒が主体的に取り組めるテーマを設定できるということが体感できた。また、教師側が「話し合う」という指示を出す際、「話し合う」「1番いいものを選ぶ」「〇つ選ぶ」指示の出し方により、活動の活発さが異なることも体験できた。これらは「ふるさと創造学」だけでなく、仕事の面でも活用できることであり、身につけていきたい視点であると感じた（その他）

○ 今後の課題

- ✓ 課題設定の仕方が良く分かった研修だった。課題設定は、一番大切な部分で、自分が本当に興味関心がある課題にしないと、一年間研究するうえでの追究活動がぶれてしまうのでじっくりと行いたい。昨年の課題をさらに深められるような（スパイラル）活動にしていくことが課題（小学校・教諭）
- ✓ 学校全体の総合的な学習の計画が系統的でないことが課題（小学校・教諭）
- ✓ 総合的な学習の時間（以下、総合学習）の意義について、教科の学習をはじめとする学校生活全体に、総合学習での活動、経験が生かされていくことをあらためて感じた。ウェビングの手法は、これまでも総合学習を始めるにあたっていつも行ってきたが、グループで行った際に、視点や観点が広がることを実感できた。また、他グループの発表を聞くことが、自分の活動や考えを見直す大事な場になることも認識できた。総合学習が次の学習指導要領にどう位置づけられるのかが漠然ではあるがわかり、少しは安心した。しかし、よく言われる「総論賛成、各論反対」の逆で、「各論」の段階ではそれなりに理解し、見通しがもてたととしても、「総論」になったときにも果たして総合学習の位置づけが、今回の田村先生がおっしゃったようなものになるかは若干不安はある（中学校・教諭）

2) 今年度の目標について

○ 子供たちが誇りを持って、いきいき今を過ごせるような学びの支援

- ✓ 帰村し生徒たちもふるさととでほぼ通常の日常生活を過ごすことができている。今年の新入生は小学校卒業と県外に避難していた生徒が加わった。そのような中、総合的な学習の時間における「ふるさと創造学」を通して『ふるさとに関心を持ち、復興・再生を通して自らの未来を見つめることができる』生徒の育成を目指したい。将来に夢や希望を持ちながら、ふるさとで生き生きとした中学時代を送ることができるよう支援していきたい（中学校・教諭）
- ✓ 自校については、今後総合学習部会の中で話し合いを持つ予定。私自身については、例えば今年入学してきた子どもたちが、この学校に入ったこと（選択したこと）、住民でいること、避難生活を体験したこと、ふるさとに戻るか戻らないかを考える場を持ったこと、普通に考えれば「マイナス面」についても含め、それらすべてが「誇り」として感じられるような中学校生活を送れ

ることを「夢」見ている。それにできるだけ近づけるためのスタートを子どもたちと一緒に進みたい（中学校・教諭）

○ **子供たちの将来や生きる上での素地となる学びの支援**

- ✓ 愛着、誇りをもち、自信をもって「ふるさと」を説明し、生活できる素地を養っていくことと考えている（小学校・管理職）
- ✓ 知識、経験に終わらず、将来仲間と力を合わせ、課題を解決し、よりよく生きようとする学びになるようふるさと学習を進めていきたい（小学校・管理職）
- ✓ 将来、自分はどんな人になりたいかということを考えさせる、一つの助けとして考えてとりくんでいくことが大切であると思う。自分の生き方を学んでいくことになるようにしていきたい（中学校・管理職）
- ✓ 本校への帰還が予定されていることを踏まえ、将来の町を創造し、10年後の自分を創造（想像）し、自分がどうかかわっていけるのか、どうすることで帰りたくなる町になるのか、という視点で学習を進めていきたい（中学校・管理職）
- ✓ ワークショップのまとめにあった、ふるさとを大切にする人、未来志向で人とのつながりを大切にできる人づくりが目標であると思っている。一方で、ふるさとにとどまるのではなく、広く世界、社会で活躍する人づくりも大切にしていきたいと考えている（中学校・管理職）

○ **主体性・協働性等の資質・能力や力の育成**

- ✓ 自ら学ぼうとする姿勢を持たせる。学び続けようとする態度を育成する（課題を解決しようとする姿勢を育てる）。探求の過程を通じて、各教科の学習意義を認識させ、総合的に物事をとらえられるようにする（その他）
- ✓ 子どもたちがアクティブラーニングができるように今年度もふるさと創造学を進められたらと思う（中学校・教諭）
- ✓ 教師主導からの脱却。児童一人一人が自分のペースで学び、相互に確認し合いながら課題を解決していける個の能力、集団の形成を目指したい。『学び合い』の中で成長し合う集団（小学校・管理職）

○ **「ふるさと」から学ぶ活動の推進**

- ✓ より多くの人と出会う機会を作るのが目標（中学校・教諭）
- ✓ 「ふるさと創造学」に取り組むことで、ふるさとに対する人の思いや復興に対する人の思いにふれ、ふるさとを知り、深め、つなげていけるよう、ふるさとからたくさんの方のことを学ぶこと（中学校・教諭）
- ✓ 双葉のもの、ことなどを子どもたちが自覚できる活動や身につく活動にしていきたい（小学校・管理職）
- ✓ 具体的なものはまだ見えないが、子どもたちが小学校1年生までに経験した「ふるさと」の現体験、それ以後に経験した、ふるさとに関する経験などを整理し、中学校1年としての新たな視点でふるさとを（再）発見できるような活動を目指したいと思う（中学校・教諭）

○ 教職員の指導力向上等

- ✓ 本講座をもとに、校内で伝達し、先生方が本気で取り組めるようにできるか。校長として直接指導する先生方がワクワク楽しみ、子どもの成長を（よりよくなる自分）を目指し授業にとりくむような手立てねらいに迫る課題と学び（小学校・管理職）
- ✓ 今年度からの参加のため、まだ漠然としたイメージしか持てないが、とても魅力ある活動であることがわかった。本校の生徒は全校で9名しかおらず、1年生は1名で話し合い活動が困難であったり、課題はたくさんあるが、本日参加して、自分なりの方向性が見えたような気がしている。学びのスパイラルをきちんと構築していきたい（中学校・管理職）
- ✓ 先生方、一人一人に「ふるさと創造学」の学びを体験してもらえないかと思っている。教員研修としてできないかと思っている（中学校・管理職）
- ✓ 「ふるさとから学ぶ」今年度から学ぶことになり、自分も一緒に学ぶ立場（中学校・管理職）
- ✓ 今年度は昨年度の「プラス」を生かして、さらに深化させていきたい（小学校・管理職）

3) その他意見・感想、提案等

○ 研修機会の提案等

- ✓ 双葉郡の魅力ある地区、地域を見て回る活動や復興に取り組んでいる事例研究等（小学校・管理職）
- ✓ 他の中学校の総合の時間の先進的な取り組みを参考にさせていただきたい（中学校・管理職）
- ✓ 自分たちの地域だけではなく、他の地域、世界の地域との共通点、相違点からより新しい自分の地域を創造していければよいのではないか（中学校・管理職）
- ✓ この研修を本稿の年間計画に位置付け、全職員での参加をしたい。資質能力の育成 総合重視の学校大手町小・大岡小への視察（小学校・管理職）

○ その他意見・提案

- ✓ 個人的な思いとして・・・たとえば本校1年生の3人の子どもたちが体験する「ふるさと創造学」が、可能な限り他校にいる子どもたちのもとにまで届くようにしたい（今も、広報、HPで行っているが）（中学校・教諭）
- ✓ サミットは交流の良い機会。より深い学びのために小、中はわけた方が良いと考える。もともと人数が少ないので、横の交流を積極的に行いたい（中学校・教諭）
- ✓ 学び、解決力を高める経験を踏んだ中・高生ならば、小学生対象の絆づくりプロジェクトの企画、運営をテーマの一つとして取り扱ってほしいと感じた（小学校・管理職）
- ✓ Google ドライブで資料や動画をひきつづき共有してほしい（小学校・教諭）
- ✓ 各学校のニーズ等を踏まえ、今後も良好な関係の中で連携させていただきたい（中学校・管理職）

○ その他感想等

- ✓ 昨年度までの活動をいくつか見て、自分たちの中で終わることのないような活動を追求したいと思う。カルタづくり、カレンダーづくりなど、避難している住民の方に「つながる」活動には感動させられた。同じような活動として、オリジナルボックスティッシュづくりや、ポケットテ

イッシュュを利用したメッセージ発信、「なみえ検定」とかも、子どもたちに紹介してもいいかな
と思っている（中学校・教諭）

- ✓ 教えることの楽しさを学ぶことができた。今年から教諭とは異なり教頭としての立場だが、立場がかわれど教えることの楽しさを実感できた。ありがとうございました（中学校・管理職）
- ✓ 自校で多くの教員に今日の内容を学んでほしい（中学校・管理職）
- ✓ 田村先生の講義は、他地域での実践例と思考ツールの実体験があり、大変勉強になる（小学校・教諭）
- ✓ 総合的な学習の時間において課題設定の仕方を具体的に説明（演習を通して）していただき参考になった（小学校・教諭）
- ✓ 双葉郡の他校の先生方とお会いする機会もなくなった今、ふるさとの学習を語りあうことは、自分自身の見方、考え方に広がり生まれる（小学校・教諭）
- ✓ 久しぶりに双葉郡の先生方と話せて、ふるさとの話題で盛り上がってとても楽しかった（小学校・教諭）
- ✓ 「ふるさと創造学」のこれまでをもっとよく知ることからはじめたいとあらためて感じた。子どもに力をつけるため、頑張りたい。今後ともよろしく願います（小学校・教諭）
- ✓ まずは「ふるさと創造学」のこれまでの取り組みを中心にしっかりと学んで、今後もっと主体的に参加できるようになりたい（その他）

以上